

令和4年度
学校要覧
開校60周年



緑豊かな丘の上のまなびや
武蔵村山市立第三小学校

沿革

- 明治23年
6月 扶桑学会として発足
- 昭和22年
4月 村山小学校第一分校となる
- 昭和37年
村山第三小学校として設立
10月 高水政次初代校長着任
- 昭和42年
6月 新校舎落成
7月 プール完成
- 昭和45年
4月 種村実第二代校長着任
11月 武蔵村山市立第三小学校となる
- 昭和47年
11月 屋内運動場竣工
12月 開校10周年記念式典
- 昭和50年
4月 榎本治作第三代校長着任
- 昭和51年
3月 増築新校舎竣工
- 昭和52年
9月 校庭整備工事完了
- 昭和53年
10月 屋上防水工事完了
- 昭和56年
4月 北園豊第四代校長着任
- 昭和57年
12月 開校20周年記念式典
- 昭和59年
4月 神原康夫第五代校長着任
- 昭和60年
8月 インターロッキング設置
平成2年
4月 内笠芳男第六代校長着任
平成4年
11月 開校30周年記念式典
平成5年
4月 福谷隆子第七代校長着任
平成8年
12月 市研究奨励校研究発表会
「自ら学び高め合う子供」の育成」
平成9年
4月 萩田虎司第八代校長着任
平成11年
8月 第二期校舎耐震補強及び
改修工事終了

教育目標

- ◎よく考える子
- なかよくする子
- 元気で明るい子
- 力いっぱいがんばる子



よく考える子

「自らすすんで学習し、よく考える子」の育成
全ての児童が主体的に学び、学習の楽しさを味わえるよう、校内研究を要とし、教職員一丸となって授業改善に取り組んでいます。

<具体的な取組>

- ・授業のねらいに迫る効果的なしかけの工夫
- ・既存の知識及び技能を活用した選択の機会の設定
- ・ICT機器の活用 など



なかよくする子

「思いやりの心をもって互いに助け合う子」の育成
全ての児童が思いやりの心を育み、偏見や差別をなくすよう、道徳の授業を要とし、学校教育全体を通じて豊かな心の育成に取り組んでいます。

<具体的な取組>

- ・自己の生き方についての考えを深める道徳の授業
- ・地域と連携した体験的な学習
- ・月1回のたてわり班遊び など



元気で明るい子

「心と体を鍛え、健康で明朗な子」の育成
全ての児童が運動に親しみ、健康でいられるよう、体育の授業を要とし、学校教育全体を通じて体力向上に取り組んでいます。

<具体的な取組>

- ・体育の授業と体育的活動（縄跳び・持久走など）の充実
- ・週1回（毎週水曜日）の丘の上スポーツタイムの設定 など



力いっぱいがんばる子

「目標をもって全力でやりぬく子」の育成
全ての児童が自身のよさに気付き伸長できるよう、学校教育全体を通じて自己の能力を発揮できる様々な場を用意しています。

<具体的な取組>

- ・運動会、丘の上発表会などの自己のよさを最大限発揮できる場の設定
- ・自己のがんばりを評価する表彰機会の設定 など



平成12年

9月 PC室完成

平成13年

4月 内山壽孝第九代校長着任

8月 第三期校舎耐震補強工事終了

平成14年

2月 プール改修工事終了

平成16年

8月 旧校舎トイレ改修工事終了

観察池設置 PC室増築工事終了

平成17年

2月 市研究奨励校発表会

平成18年

2月 文部科学省「学力向上拠点形成事業」

平成19年

1月 文部科学省「学力向上拠点形成事業」

平成20年

1月 文部科学省「学力向上拠点形成事業」

平成22年

4月 染谷由之第十代校長着任

平成23年

2月 文部科学省「学力向上実践研究推進事業」

9月 ICT工事終了

10月 校庭芝生化工事終了

平成24年

10月 開校50周年記念式典

平成25年

2月 東京都「習熟度別少人数指定実践研究推進校」研究発表

平成26年

2月 言語能力向上拠点校研究発表会

平成27年

4月 前川潤第十一代校長着任

平成28年

10月 武蔵村山市特色ある学校づくり推進校研究発表（英語教育・国際理解教育）

平成29年

11月 文部科学省英語教育強化地域拠点校研究発表会（会場・雷塚小学校）

平成30年

10月 夢未来プロジェクト実施

平成31・令和元年

10月 文化プログラム・学校連携事業

令和2年

4月 緊急事態宣言発令による学校臨時休業

8月 体育館空調工事終了

令和3年

7月 地域未来塾開始

令和4年

2月 武蔵村山知名度アップメモリーズ完成披露発表会